



平成 30 年 11 月 14 日

各 位

会 社 名 日 本 基 礎 技 術 株 式 会 社  
 代 表 者 名 取 締 役 社 長 中 原 巖  
 (コード番号 1914 東証 第 1 部)  
 問 合 せ 先 取 締 役 執 行 役 員 事 務 管 理 本 部 長 尾 崎 克 哉  
 (TEL 03 - 5365 - 2500)

### 特別損失(個別)の計上および第 2 四半期累計期間の業績予想と 実績値との差異に関するお知らせ

当社は、平成 31 年 3 月期第 2 四半期累計期間の個別決算において特別損失を計上するとともに、平成 30 年 5 月 15 日に公表しました平成 31 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績予想と本日公表の決算値との差異について下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 特別損失の計上について

(投資損失引当金繰入額)

第 2 四半期累計期間の個別決算において、連結子会社に対する投資損失引当金繰入額 290 百万円を特別損失として計上いたしました。

なお、個別財務諸表上にて特別損失として計上いたしますが、連結財務諸表上では全額消去されるため、連結業績への影響はありません。

#### 2. 業績予想との差異

平成 31 年 3 月期第 2 四半期(累計)連結業績予想数値の差異 (平成 30 年 4 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1 株当たり四 半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 10,800	百万円 110	百万円 170	百万円 20	円 銭 0.73
実績値 (B)	11,072	△10	125	△17	△0.64
増減額 (B—A)	272	△120	△45	△37	—
増減率 (%)	2.5%	—	△26.4	—	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 30 年 3 月期第 2 四半期)	10,990	174	274	20	0.72

平成 31 年 3 月期第 2 四半期(累計)個別業績予想数値の差異 (平成 30 年 4 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1 株当たり四半 期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 9,500	百万円 300	百万円 0	円 銭 0.00
実績値 (B)	9,764	418	2	0.09
増減額 (B—A)	264	118	2	—
増減率 (%)	2.7%	39.3%	—	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 30 年 3 月期第 2 四半期)	10,182	728	26	0.94

### 3. 差異理由

#### (第2四半期累計期間の個別業績)

個別業績につきましては、手持ち工事の進捗が当初の想定を上回ったことにより、前回予想からの売上高の増加額は264百万円となりました。

利益面につきましては、個別工事において、東京都内における不採算工事の影響が大きく、営業損益は計画を下回りましたが、営業外収益の好転により経常利益は前回予想から118百万円の増加となりました。

四半期純利益は、特別損失に投資損失引当金繰入額290百万円を計上したため、前回予想からの増加額は2百万円にとどまりました。

なお、個別財務諸表上にて特別損失として計上いたしますが、連結財務諸表上では全額消去されるため、連結業績への影響はありません。

#### (第2四半期累計期間の連結業績)

個別修正理由により、売上高の前回予想からの増加額は272百万円となりました。

利益面においては、米国現地法人において着工遅延を要因とする間接費等が先行したことにより、前回予想から、営業利益で120百万円、経常利益で45百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益で37百万円それぞれ減少しました。

### 4. 通期業績予想

平成31年3月期の通期業績予想につきましては、平成30年5月15日に公表しております予想数値から変更はありません。

以 上